

2012年12月1日  
在アンゴラ日本国大使館

## アンゴラ情勢報告（2012年12月）

### 【12月の政治動向】

#### <内政>

- ・ **ロビト精油所建設**：10日、マヌエル・ヴィセンテ副大統領はロビト精油所建設の定礎式に出席。建設費用は7000億クワンザ、第1フェーズに2年半、第2フェーズに3年を要する見込み。完成後は、日量20万バレルの石油を生産予定。
  
- ・ **予算関連**：
  - 11日、閣議にて2013～2017年にかけての国家開発プログラム及び2013年度予算案が承認された。歳出入予算は6兆6000億クワンザであり、その内訳33.3%は教育、保健医療、高等教育、社会保障等の社会分野に割り当てられている。今後、同予算案は国会にて審議される。
  - 27日、閣議内経済委員会は、2013年1月に向けた出納計画を承認。これにより、予算審議中の公共サービス、国債の支払い等への予算が確保された。
  
- ・ **国勢調査**：国立統計院は、当初2012年7月に実施を予定していた国勢調査は、総選挙のために大幅に実施が遅れ、2014年に実施される旨発表。
  
- ・ **地方選挙**：ソウザ国内行政大臣は、地方選挙を平穩に実施すべく、現在詳細な事前調査を行っている。地方選挙は当初2014年に実施を予定していたが、同調査の実施のため2015年まで延期された。
  
- ・ **農業保険**：政府は、国内金融システムに農業保険を導入する可能性について検討している。災害による損害から農業生産活動を保護することが目的。
  
- ・ **文化**：シルヴァ文化大臣は、Mbanza Congo（旧コンゴ王国の首都）の2014年または2015年までのユネスコ世界遺産登録を目指し働きかけを行っている旨述べた。
  
- ・ **電力**：ボルジェス電力・水大臣は、2013年の第一四半期までにエネルギーの安全に関する国家計画の第一フェーズが完了する旨述べた。
  
- ・ **鉄道・インフラ**：
  - モサメデス鉄道業務の民間委託に関する入札が行われ、入札業者が決定。今後、同鉄道の人・物の搬出入、清掃、車内販売等のサービスが外部委託されることとなる。

- ベント・ルアンダ州知事は、2013年第一四半期に21の教育施設、3つ医療機関、医薬品保管庫、9つの警察派出所、40の市営市場を開設する旨発表。
- マヌエル・ヴィセンテ副大統領は、ザイレ州ソヨ市において Mediateca（公立メディア図書館）の開館式に出席。
- 14日、アンゴラ・ブラジル間を結ぶ海底通信ケーブルの敷設完工式が開催され、ロッシャ通信大臣が出席。同ケーブル敷設により、インターネットサービスの向上が見込まれる。

- ・ **大統領年末挨拶**：27日、ドス・サントス大統領は大統領官邸において年末の挨拶を行い、今年一年の出来事を振り返るとともに、選挙での公約を実現させることを誓った。また、世界的にも重要な国となる要素を有するアンゴラを、国民の力で益々発展させていくよう呼びかけた。

- ・ **観光**：27日、ドス・サントス大統領は、観光業とロビト港、ナミベ港に入港を希望する国際周航船の出入港管理に関する委員会の設置を命じた。

- ・ **国外への不正な資金移転**：28日、ソウザ検事総長は、不正な活動により集められた膨大な資金を国外移転し、資金洗浄を行っている疑いのある外国人居住者の氏名を近々公表する旨発表。

- ・ **不法入国**：内務省は、カビンダ州、ザイレ州、クワンザ・スル州における隣国からの不法入国に対する懸念を示し、2013年は国境付近の警備を更に強化する旨発表。

- ・ **競技場での死亡事故**：31日、シダデーラ国立競技場にて Universal do Reino de Deus 教会主催で開催された集会に参加するために、多くの信者が同競技場入り口に殺到し、16人が死亡、その内3人が子供で、120人が負傷。

## <外交>

- ・ **ベルギー・アンゴラ関係**：ベルギー皇太子、大臣、企業家からなるミッションが2013年後半アンゴラを訪問する予定。

- ・ **葡・アンゴラ関係**：3日、アンゴラとポルトガルは、第14回二国間委員会を開催。軍事技術分野での人材育成プログラムにおける協力に関し議論した。

- ・ **スペイン・アンゴラ関係**：11日、スペインのマルガーリョ外務協力大臣がアンゴラを公式訪問。貿易、民間投資、友好関係の強化が訪問の目的。ドス・サントス大統領との面談後、同大臣は取材に応え、アンゴラとの間で、全種パスポートにおける査証免除協定の交渉可能性に言及。

- ・ **スイス・アンゴラ関係**：17日、スイスとアンゴラは、スイス銀行において凍結されていた資金4300万ドルを返還することで合意。

- ・ **露・アンゴラ関係** : 21日, 露協力のもとアンゴラ初の衛星の建設が開始され, 3年の間に発射される見込み。

- ・ **伯・アンゴラ関係** : アンゴラと伯は, 移民・領事分野において, 二国間ワーキンググループ創設に向け協働。

- ・ **アフリカ諸国との関係** :

- 2015年に予定されている地方選挙に向け, アンゴラとカーボ・ヴェルデは, 国と地方政権との連携分野において, これまでの経験を共有する等の協力をしていく旨発表。

- 19日, コンゴ(共)大統領特使, 及び, マリ大統領特使が, ドス・サントス大統領を表敬訪問。

- ザンビア政府は, 同国内に住む約1万人のアンゴラ人難民をザンビア国民として受け入れる考えを示した。

- ・ **国際機関による協力** :

- UNDPは, Amboim, Quilenda, Cassongueにおけるコーヒー豆栽培への支援プロジェクトを発表。スペインが同プロジェクトに対し5億クワンザの資金援助を行う。

- 12日, 農業省と国連食糧農業機関(FAO)は, 2013~2017年にわたる食料・農業分野における協力プロジェクトを発表。

- ・ **環境に関するアフリカ閣僚会合** : ジャルディン環境大臣は, ドーハにて開催された環境に関するアフリカ閣僚会合に出席。アフリカ諸国の環境大臣は, CO2排出によるアフリカ大陸への悪影響を減少させる必要性につき確認し, ミレニアム開発目標の達成が可能である旨強調。

- ・ **石油輸出国機構定期会合** : 12日, ヴァスコンセーロス石油大臣は, ウィーンにて開催された石油輸出国機構(OPEC)定期会合に出席。新事務総長を選出する選挙が実施された。

- ・ **原子力安全に関する福島閣僚会議** : 16, 17日, 原子力安全に関する福島閣僚会議が開催され, アンゴラからブラガンサ外務協力担当副大臣が出席。会合において, 大量破壊兵器拡散に反対する考えを示し, また, 核エネルギーの平和的利用に関する潜在性を認識する旨述べた。

## 【基本事項】

### <一般情報>

- ・ 国名はンドンゴ王国の王号ンゴラに由来。人口1961万8432人<sup>1</sup>（2011年世銀推計）
- ・ 旧ポルトガル植民地であり、1975年に独立。独立後、1975年から2002年まで長年に亘る内戦を経験し、2002年に和平を達成。

### <政治体制・内政>

- ・ 大統領を元首とする共和制国家。
- ・ 2002年の内戦終結以降、民主化を進めており、国内政治的には非常に安定。
- ・ 2008年9月に内戦終了後、16年ぶり2度目の国会議員選挙が実施され、与党アンゴラ解放人民運動党（MPLA）が81.3%の得票で圧勝。
- ・ ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス大統領は、初代大統領アゴスティーニョ・ネットの死去をうけ、1979年9月20日就任。以来、30年以上大統領の座に就いている。
- ・ 2010年に新憲法が施行。首相職が廃止され、副大統領を設置。大統領と国会議員の選出を同一の選挙で実施する「議院大統領制」が採用された。大統領の任期は5年<sup>2</sup>、2期まで。議会は1院制（議席数220、任期5年）。
- ・ 2012年8月31日、新憲法の下で初、史上2度目の大統領選挙、史上3度目の国会議員選挙となる総選挙が実施され、ドス・サントス大統領が再任された。

---

<sup>1</sup> 2014年に国勢調査の実施を予定。